

平成25年度 新潟市立図書館指標別評価シート

全市立図書館

区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対前年度比	図書館運営全体						
図書館運営	基本的サービス(地区図書館分を含む)					自己評価			外部評価			
	資料購入費:決算数値(千円)	169,752	206,457	159,403	22.8%減	・資料購入費が対前年度比で22.8%減少しているのは、亀田図書館の開館に係る経費が減ったためである。 ・また、貸出冊数の減少は、坂井輪図書館が改修工事のため閉館したこと及び新・新津図書館の建設工事により駐車場が減少したこと、松浜図書館が耐震工事により一時閉館したことなどが大きな原因と考えられる。 ・平成24年度に開館した亀田図書館と内野、黒埼、西川図書館は、昨年より貸出が昨年に比較して増加した。内野、黒埼、西川図書館の増加は坂井輪図書館閉館の影響と考えられる。 ・登録者数及び新規登録者数の増加も、亀田図書館の登録が増加したためである。			1 大変評価する。23%			
	蔵書冊数(点)	1,815,645	1,842,478	1,830,532	0.6%減				2 ある程度評価する。69%			
	貸出冊数(点)	4,673,975	4,723,162	4,599,711	2.6%減				3 評価できない。0%			
	登録者数(人)	158,542	155,642	158,956	2.1%増							
(内新規登録者数)	16,884	17,666	19,666	11.3%増								
区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	H25目標値	理由	平成25年度	評点	評価(次年度への展開)				
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館					自己評価			外部評価			
	レファレンス件数(件)	8,128	8,506	8,510	前年度並	12,649	4	・レファレンス研修は前年度より47%増加し、目標値を大幅に上回ることができた。 ・予約件数は増加しており、オンライン利用が浸透しているものと考えられる。 ※ビジネス支援サービスは中央図書館シートをご覧ください。 ※ホームページアクセス件数は、中央図書館シートをご覧ください。				
	個人予約件数(件)	643,008	675,543	554,100	教育ビジョン	682,593	4				1 大変評価する。69%	
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	中央図書館の数値					4				2 ある程度評価する。31%	
	ホームページアクセス件数(件)	中央図書館の数値					4				3 評価できない。0%	
	分権型図書館					自己評価			外部評価			
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	97,236	101,480	101,500	前年度並	105,711	4	・各館にどのような郷土資料があるのかPRしてほしい。 ・地域性、個性化を各図書館が競ってほしい。 ・特色を生かした地域資料の収集、特別コレクション室の展示やテーマ展示等、郷土資料の紹介はよい。 ・各地区の郷土資料は大切に、若い人たちが郷土の歴史・資料を忘れないでほしい。				
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	37,225	38,192	38,200	前年度並	39,325	4				1 大変評価する。77%	
	学・社・民融合型図書館					自己評価			外部評価			
	児童書の貸出冊数(冊)	1,099,729	1,099,169	1,200,000	教育ビジョン	1,046,422	2	・学校の読み聞かせボランティアのスキルアップを望む。 ・児童や幼児に、もっと本に関心を持ってもらうべく催したイベント等、読書週間も大いに利用して良かった。 ・まだ小中学校図書室との連携に工夫の余地がありそうだ。 ・児童書の貸出冊数の減少は、その原因を十分検討して増加を目指してほしい。 ・新潟市の学校司書全校配置はすばらしいと思う。さらに質の向上を目指してほしい。 ・子ども達が本を読む時間が減らないよう興味を持たせるアピールをしたらよい。				
	小中学生への貸出冊数(冊)	464,250	499,785	523,000	教育ビジョン	472,109	2				1 大変評価する。23%	
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	19,360	14,665	20,250	教育ビジョン	16,605	2				2 ある程度評価する。69%	
	職場体験受入人数(人)	207	205	210	前年度並	213	4				3 評価できない。8%	
	講師等としての派遣職員数(人)	297	344	350	前年度並	392	4					
	パートナーシップ型図書館					自己評価			外部評価			
図書館事業のボランティア活動者数(延人数)	3,232	3,996	4,000	前年度並	3,904	2	・ボランティア活動者数の増加は市民の図書館への関心を深めることに繋がり、一層の努力を期待したい。 ・ボランティアの高齢化・固定化を予防し、学生への協力呼びかけ強化をしてほしい。 ・多くの団体と共催していることを評価する。 ・ボランティア活動者とボランティア団体の参加の数が増えたのがよい。全館の利用者へのアンケート調査で要望を把握出来たのがこれからの改善に繋がる。 ・各館でボランティアとの意見交換の場を設けたらどうか。 ・ボランティア活動者の評価が低いと活動意欲は削られ、いずれは外部団体にゆだねる形とボランティア事業減少を危惧する。 ・利用者懇談会の開催がない。検討してほしい。					
ボランティア団体交流会参加者数(人)	118	76	80	前年度並	91	4				1 大変評価する。15%		
利用者懇談会の開催回数(回)	3	0	3	対前年度増	0	1				2 ある程度評価する。77%		
共催事業の実施回数(回)	170	73	75	組織目標	67	2				3 評価できない。8%		
運営(職員)					自己評価			外部評価				
研修参加職員数(延人数)	665	537	540	組織目標	578	4	・研修の実施は正解だと思う。 ・図書館は今どんどん変わっている。市民ニーズに敏感になってほしい。					

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針, 新・総合計画:市の目指す都市像に向けた行政計画, 組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価